第 66 回産業精神保健定期研修会

日 時：令和５年 11 月３日（金・祝）13：00～17：00

会 場：医療法人純和会　矢作川病院　北館３階「グリーンホール」
〒444-1164　愛知県安城市藤井町南山 141 番地

◆ 前半の部：ケース・スタディ

不登校をきっかけにやりたいことを見つけた女子高生の事例
～感情に触れ、死に直面し生の意味を模索し始めた女子高生～

ｺﾒﾝﾃｰﾀ：京都ヘルメス研究所所長・京都大学名誉教授・
産業精神保健（IMH）研究所　特別顧問　　山中　康裕 先生

座　長：産業精神保健（IMH）研究所 研究員 臨床心理士　米村　高穂

発表者：産業精神保健（IMH）研究所 研究員 臨床心理士　黒野　和将

◆ 後半の部：特別講演

心理療法は誰のものか（仮題）
～思春期のクライエントが死の危機に直面した時、私たちに求められる姿勢とは～

講　師：　　山中　康裕 先生

座　長：産業精神保健（IMH）研究所　所長　　岡崎　敏博

◇ 申込方法　別紙申込書を下記 FAX にご送付後、下記口座に所定の金額をお振り込み下さい。

① お問い合わせ先　医療法人純和会　産業精神保健（IMH）研究所　事務局
Tel ：0566－99－6501　Fax：050－3794－7752

② 参加費　会員様　：当日、受付にてご所属とお名前をお伝えください。
非会員様：3,500 円　同じ所属３名以上でお越しの方は３人目から 2,000 円
学生の方：2,000 円（要学生証）

③ お振込先　別紙「申込用紙」のメールアドレスに口座番号をご連絡させていただきます。

④ 申込締切日・振込期限：令和５年 10 月 28 日（土）

⑤ 対象　医師、臨床心理士・公認心理師、保健師・看護師、精神保健福祉士、作業療法士、薬剤師、教育関係、介護士、大学・大学院生、企業等で産業保健に関わる方　等

医療法人純和会　産業精神保健（IMH）研究所

第 66 回産業精神保健定期研修会　開催に寄せて

拝啓

仲秋の候、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

今回は、前半の部のケース・スタディでは、参加者の皆様とのディスカッション後に山中康裕先生のコメントを頂く形式で企画させていただきました。後半の部の特別講演では、長年心理療法を通して多くの子どもたちの心に関わってこられた山中康裕先生より、最近の思春期・青年期の子どもたちを取り巻く状況から、子どもたちが死の危機に直面した時、子どもたちの心にどのようなことが起こっていて、私たちはどのように関われればよいのかお伺いします。
皆様と考えていきたいと思いますので、是非ご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

敬具

＜講師＞

山中　康裕（やまなか　やすひろ）先生

京都ヘルメス研究所所長・京都大学名誉教授・
医療法人純和会　産業精神保健（IMH）研究所　特別顧問

精神科医。臨床心理士。1941 年名古屋市生まれ。名古屋市立大学大学院医学研究科卒業後、同大学助手、講師、南山大学文学部助教授を経て、京都大学教育学部助教授に就任。その後京都大学教授に就任され、同学部長、研究家科長、第 19 期日本学術会議会員を歴任。2005 年に同大学を退職。京都ヘルメス研究所所長。2007 年 当研究所・特別顧問に就任。2009 年より 2012 年 3 月まで浜松大学（現：常葉大学）大学院教授、同付属臨床心理教育実践センター長。

これまで、米国表現病理学会賞エルンスト・クリス賞（1995 年)、フランス表現病理・芸術療法学会バスク賞（1997 年)、カナダ箱庭療法学会ファーザー・ラーベン賞（2000 年)、WPA（世界精神医学会）世界精神医学会金賞（2002 年)、生涯功績賞マス・メディア精神保健部門（2002 年）などを受賞され、各方面で御尽力されてこられました。

現在も臨床現場の最前線でご活躍されながら、「カワンセラー」として子どもと川とのふれあいを通して子どもの心を豊かにする活動をされるなど、日本を代表する精神科医、臨床心理士であられます。

主な著書：『少年期の心』『心理臨床学のコア』『心理臨床と表現療法』『魂と心の知の探求』
『深奥なる心理臨床のために』『心理臨床プロムナード　こころをめぐる 13 の対話』
『山中康裕著作集〈第 1 巻～第 6 巻〉』
『MSSM への招待　描画法による臨床実践』
『山中康裕の臨床作法』（最新刊）など多数